

79	建設局 都市整備局	三環状道路の整備促進（東京外かく環状道路）	
事業概要	<p>東京外かく環状道路は、都心から約15kmの圏域を環状に連絡する延長約85kmの道路で、首都圏の交通や物流の根幹を成し、渋滞解消による国際競争力の強化や防災性の向上、地域の安全性確保などに資する極めて重要な道路である。</p> <p>このうち、東関東自動車道から関越道までの約49kmが開通している。関越道から東名高速までの約16kmは、平成21年5月に事業化され、国土交通省、東日本・中日本高速道路株式会社により整備が進められている。</p> <p>なお、東名高速から湾岸道路までについては、国土開発幹線自動車道建設法による予定路線に位置付けられているが、計画が具体化されていない状況である。</p>		
これまでの経過	<p>〔関越道～東名高速〕</p> <p>1966(昭和41)年7月 都市計画決定</p> <p>2007(平成19)年4月 都市計画変更決定</p> <p>2009(平成21)年4月 「対応の方針」を公表</p> <p>2009(平成21)年5月 「整備計画」の決定、事業化</p> <p>2010(平成22)年4月 都は、「東京都建設局外環大泉事務所」を開設</p> <p>2010(平成22)年5月 大泉JCTの用地取得事務を都が受託</p> <p>2012(平成24)年4月 整備計画の変更・事業許可に伴い、事業者が決定</p> <p>2012(平成24)年9月 東名JCT予定地において着工式を開催、トンネル立坑工事に着手</p> <p>2014(平成26)年3月 大深度地下使用認可と都市計画事業承認・認可</p> <p>2015(平成27)年3月 都市計画変更（地中拡幅部）</p> <p>2015(平成27)年6月 都市計画事業変更の承認・認可（地中拡幅部）</p> <p>2017(平成29)年2月 東名JCTにおいてシールドマシン発進式を開催</p> <p>2017(平成29)年4月 青梅街道ICの用地取得事務を都が受託</p> <p>2019(平成31)年1月 大泉JCTにおいてシールドマシン発進式を開催</p> <p>2021(令和03)年3月 都市計画事業変更の承認・認可（施行期間延伸）</p> <p>〔東名高速～湾岸道路〕</p> <p>2016(平成28)年2月 「東京外かく環状道路（東名高速～湾岸道路間）計画検討協議会」を国土交通省が設立（構成：国土交通省、東京都、川崎市）</p> <p>2017(平成29)年7月 第2回計画検討協議会開催</p> <p>2017(平成29)年12月 第3回計画検討協議会開催</p> <p>2018(平成30)年5月 第4回計画検討協議会開催</p> <p>2019(令和元)年6月 第5回計画検討協議会開催</p>		
現在の進行状況	<p>〔関越道～東名高速〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成29年2月に東名JCT、平成31年1月には大泉JCTからシールドマシンが発進した。 都は、用地取得事務を受託している大泉JCT及び青梅街道ICにおいて、測量・用地取得を進めている。 令和2年10月に調布市で陥没・空洞事故が発生し、本線シールドトンネル工事が原因とされた。都は国など事業者に対して、住民の不安払拭に向け、緩んだ地盤の補修、補償等を含めた丁寧な説明や対応、再発防止対策を確実に実施することを求めている。 <p>〔東名高速～湾岸道路〕</p> <p>「計画検討協議会」における議論も踏まえ、全区間の計画の早期具体化に向けて国土交通省と調整を進めている。</p>		
今後の見通し	<p>〔関越道～東名高速〕</p> <p>安全を最優先に工事を進めるとともに、コスト削減に努め、早期に開通することを国など事業者に求めるとともに、都としても、受託している青梅街道ICの用地取得を推進するなど、積極的に支援を行っていく。</p> <p>〔東名高速～湾岸道路〕</p> <p>国や関係機関とともに、計画の早期具体化に向けて取り組んでいく。</p>		
問い合わせ先	建設局 三環状道路整備推進部 整備推進課 都市整備局 都市基盤部 街路計画課	電話	03-5320-5172 03-5388-3279